

としま包摂ネットワーク主催 地域サポーター養成セミナー

テーマ

#02

地域医療と生活困窮

参加
無料

ゲストスピーカー



土屋 淳郎 さん

豊島区医師会 会長
全国医療介護連携ネットワーク研究会 会長
いけよんプロジェクト 代表



清野 賢司 さん

特定非営利活動法人TENOHASI 代表理事
精神保健福祉士

場所

としま区民センター601・602会議室

東京都豊島区東池袋1-20-10

タイムスケジュール

- 13:30-14:00 なぜ炊き出しに500人も並ぶのか？～孤立と困窮～
- 14:00-14:30 地域のかかりつけ医と多職種連携
～最期まで生活を支えるネットワーク～
- 14:30-14:45 パネルディスカッション
- 14:45-15:30 グループディスカッション

6月3日(月)
13:30-15:30

お問い合わせ

としま包摂ネットワーク事務局
担当：長谷川・志塚・小出
toshima.housetsu.net@gmail.com

お申し込み

ご予約は、右のQRコードから
予約用フォームに必要事項を
ご登録お願いいたします。



主催：としま包摂ネットワーク

SEMINAR 2024

セミナー概要

「2025年は、団塊の世代が75歳を迎え後期高齢者となり、本格的に超高齢化社会を迎える年だと言われています。この「2025年問題」に備え、私たちの住む豊島区でも、高齢者が住み慣れた場所で自分らしい暮らしを最期までおくれるよう、「地域包括ケアシステム」の構築が進められてきました。

他方で、私たちが暮らす豊島区、特に池袋周辺には、失業や家族との絶縁、病気や障害など様々な原因から、生活に困窮して家を失い、「地域」からこぼれてしまった方も多くいらっしゃいます。

そして、一度「地域」からこぼれてしまうと、もう一度「地域」に戻るまでには大きなハードルがあります。このことは、東京都の「ホームレスの実態に関する全国調査（東京23区の生活実態調査結果）」で、ホームレスの方の平均年齢や10年以上路上で生活している方の割合が年々上昇していることから明らかです。

そこで今回は、「地域医療と生活困窮」をテーマに、豊島区医師会の会長で、三代続く地元の「かかりつけ医」として地域包括ケアシステムの実現を目指し活動されている土屋淳郎さんをゲストスピーカーにお呼びし、「地域のかかりつけ医と多職種連携～最期まで生活を支えるネットワーク～」をテーマにお話しいただきます。

また、「すべての人に安心できる居場所を」を掲げ、池袋を拠点に20年以上、ホームレスの方への支援を続けているNPO法人TENOHASIの代表理事の清野賢司さんをゲストスピーカーにお呼びし、「なぜ炊き出しに500人も並ぶのか？～孤立と困窮～」をテーマにお話しをいただきます。

「すべての人の『味方』と『出番』をつくる」ために、私たち「地域」には何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

「としま包摂ネットワーク」とは？

としま包摂ネットワークは、豊島区で、①支援者間のネットワークを作ること、②地域のサポーターを増やすことを活動の柱として活動する団体です。豊島区内で活動する様々な支援者の方向けのメーリングリストの運用・管理や、豊島区内で地域のために活動したい、という地域の方向けに、年に4回「地域サポーター養成セミナー」を開催しています。

「地域サポーター養成セミナー」とは？

「孤立した人にとって、地域に自分の「味方」や「出番」を見つけることができれば、それほど支えになることはありません。私たちは、支援団体だけでなく、地域のなかに「味方」や「出番」を作ってくれる「地域サポーター」を増やしていきたいと考えています。

「地域サポーター養成セミナー」は、参加者の方が、今、豊島にある地域の課題とリソースを知り、地域のなかに「味方」や「出番」を作るために何ができるのかを参加者全員で考える場所にしたいと考えています。